

【施策評価調査】

施策名	4-3-2	地域資源を活かした観光		111	施策目的 町内観光資源のPRやイベントを通して、町のイメージアップとブランド化を図り、観光客入り込み数の増大に繋げる。
		高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	建設産業部 産業課	担当	商工業		施策内容 農家や観光団体と商業者が連携し、町内最大の観光資源「元気あっぱむら」を拠点に協調体制を強化して集客イベントや消費者サービスを展開し、周辺地域からの誘客を図ります。またサテライトシステム的な方策を講じて、町内の特徴ある観光農園等へ誘客し、消費拡大や活性化を図ります。(「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)
		リーダー	石川 正佳		
環境変化	・ちよっ蔵ホールの利用件数が年間1000件を超えるなど、TMO高根沢によって、県内においても、画期的な実績を残している。 ・JR宝積寺駅東口に、イルミネーションによる賑わい創出が継続して行われている。				

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標 : 町内への年間観光客入込数(人)	平成16年度実績	計画	1,327,763人	1,353,797人	1,379,831人	1,405,865人	1,431,901人
		実績	1,301,729人	1,337,047人	1,371,070人	1,382,506人	
指標 :		計画					
		実績					
指標 :		計画					
		実績					
指標 :		計画					
		実績					
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	10,660,000	9,300,000	12,800,000	14,500,000	
	決算	10,660,000	9,300,000	12,515,657		

事務事業事前評価 22年度の組立て

施策傘下事務事業	事業費	活動指標(アウトプット)	事業の実施によって、施策達成にどう貢献しますか？(アウトカム)		
観光振興費	H21 現計 14,500,000	町観光イベント集客数 40,000人	観光イベント等のスタッフ体制は、ネットワークの力をもって実施することを基本とし、推進する。具体的に、祭りを開催することは、人材を探すことができ、この結果協働のまちづくりへと繋がるものであり、人と人との連携や支え合うことにより、本町の可能性を高めるものと考ええる。	今後の方向性 (総合評価)	条件付継続
	H22 計画 14,175,000				
	H21 現計			今後の方向性 (総合評価)	
	H22 計画			今後の方向性 (総合評価)	
	H21 現計			今後の方向性 (総合評価)	
	H22 計画			今後の方向性 (総合評価)	
	H21 現計			今後の方向性 (総合評価)	
	H22 計画			今後の方向性 (総合評価)	

施策事前評価 22年度の組立て

自己評価	後期計画に向けた施策展開のビジョン		H22年度の狙い
	今後の方向性 規模縮小	観光協会の事業の見直しを図るとともに、町内企業や商工農業者と連携した体制整備を推進する。	
総合評価	観光協会のあり方、各種イベントの見直しを実施するとの自己評価であるが、どう見直しを行い、側面的なサポートをしていくのが不明瞭である。後期計画に向けて、現在行われている協議などを整理した上で、施策展開を検討すること。		